

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は2月21日に行われた卒業論文発表会と打ち上げの様子をお送りします。

今年の家畜栄養学研究室の卒業予定者は宮澤のどかさん、加藤泰基くん、新居彦治くん、私(梅村)です



トップバッターは新居くんです。
演題は「マメ外皮の持つプレバイオティクス効果の検証」です。
発表もスムーズで質疑応答も円滑にこなしていました。



次は私です。
演題は「ルーメン内Prevotella 属細菌の遺伝子型および生理機能解析」です。
反省すべき点が多々ありましたので、今後に活かしていきます。



続いて加藤君です。
演題は「ルーメンアシドーシス起因菌 *Streptococcus bovis* の遺伝子型および生理機能解析」です。
学会経験もあるため、非常に素晴らしい発表でした。
写真うつりもよくビシッと決めてカッコよかったです。
イケメンですね。



最後は宮澤さんです。
演題は「カシューナッツ殻液によるメタン低減の動物個体差を導く要因」です。
練習も十分だったのか発表から質疑応答まで、さすがとしか言いようがありません。
当研究室のトリを飾るにふさわしいプレゼンでした。
クールビューティーですね。



お疲れ様でした。
無事、卒業できればそろって後2年修士としてここで生活することになります。



夜はM2福間さんが中心となって卒業発表会の打ち上げです

た。
メイン料理の広島焼きですが、私自身初めてだったので作るところから食べるところまで興味がつきませんでした。
とっても美味でありました。



乾杯！



珍しいツーショットです。
B3若井さんとB4新居くんです。
とても楽しそうでございます。



最後の一枚はB4加藤くん。
料理姿もさまになっていてステキですね。

1年弱の4年生としての研究生生活もこれでひと段落です。
が、修士に進学する4人にとってはまだまだこれからが本番です。
現在の自分のありかたに甘んじることなく、さらなる高みを目指していきたいですね。
この場を借りて、お世話になった方々、特に小林先生、小池先生にお礼を申し上げます。

今週のWeekly Picturesはいかがでしたか？
次回もお楽しみに！

(担当:梅村)

戻る

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は2月15日に行われた修士論文発表会と畜産学科の追いコンの様子をお送りします。

今年の家畜栄養学研究室の修了予定者は高千里さん、私(林秀輔)、福岡直希君です



トップバッターは高さんです。
演題は「カシューナッツ酪液給与によるウシからのメタン放出低減とその作用機序」です。
しっかり練習も積んでいて、聴きやすい発表でした。
質疑応答もばっちりでした。



次は私です。
演題は「カシューナッツ酪液とその含有フェノール成分がルーメン細菌に及ぼす影響」です。
多くの質問をいただけて嬉しかったです。
質疑への返答には反省もありましたが、今度の学会発表でそれを生かせればと思います。



最後は福岡君です。
演題は「ルーメン内繊維消化における新規細菌の貢献」です。
中には難しい質問もあったように思いますが、きっちり答えました。



発表終了後、学生部屋の前で記念写真。
福岡君は学部から計3年間、高さんと私は2年間を過ごした、まさに「ホーム」です。



夜は畜産学科の追いコン@クラーク会館です。
3年生が中心となって準備をしてくれました。
(ありがとう!!)



恒例ですが、牛乳で乾杯!



卒業・終了する人は進路を報告します。



そして、後輩たちからのサプライズのプレゼント。
先生方のメッセージ入りマグカップでした。
本当、ありがとうございます。



ご歓談中の一コマ
カメラマン梅村君
遠くの被写体を狙っているのでしょうか？



ご歓談中の一コマその2。
小林先生と嵩さん。
盛り上がっているようです。

2年間の修士生活の一区切りです。

先生方には多くを教わり、研究室での生活を通して鍛えていただきました。

書き尽くせないほどお世話になった先生方には感謝の言葉もありません。

(3人とも来月の学会まで、もう少しご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。)

社会に出る人、研究の道を進む人、様々ですが、それぞれの場で教わったことをしっかり発揮できたらと思います。

来週は4年生が卒論発表ですね。こちらも1年間の集大成、頑張ってください。

今週のWeekly Picturesはいかがでしたか？

次回もお楽しみに！

(担当:林)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は、昨年の12月22日に行われた年度末の経過報告ゼミと、その後の納会の様子についてお送りします。



今年も小林先生が住んでおられるマンションのパーティールームをお借りしました。会場まで向かうところ。雪は少なめでした。



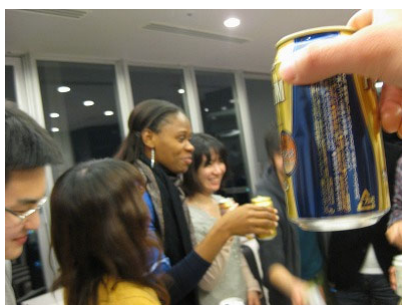
一年最後のゼミも大成功に終わり、納会の始まりです。乾杯〜!!



納会のご馳走です。



ご馳走をいただきながら、話に花が咲いている模様。



途中からQueenさんも参加し、再び乾杯です。



ムードメーカーのお二人。目つきがいつもと違います。



納会では、ラボのメンバーそれぞれが今年の振り返りと来年の抱負について話をします。
小林先生はとてもお忙しい一年だったそうです。



メンバーの発表を聞いている様子。
話を聞きながら、自分の発表順がくるまで少し緊張していることでしょう。



発表のラストは小池先生でした。小池先生はとても充実した一年を過ごされたようです。羨ましいですね。



ラボのメンバーで集合写真を撮って締めました。みなさん良い表情です。

この後も、有志で集まり2次会、3次会が開かれるなど、とても楽しい納会となりました。

次の納会も胸はって楽しめるよう、今年一年頑張りたいと思います。

次回もWeekly Picturesをお楽しみに！

(担当:仲田)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

あけましておめでとうございます。今年もWeekly pictures をよろしくお願いします。

さて、今回は昨年末に行われた、家畜栄養生理学でのプレゼン大会の模様をお届けいたします。



作成したパワーポイントファイルを発表用のパソコンに移しているようです。アニメーション等の設定は大丈夫でしょうか？



発表前の最終打ち合わせの様様。発表には時間制限がついて回ります。時間をオーバーしたりショートしたりしないために、練習・打ち合わせをしっかりとしておきましょう。

さようなら悪玉菌
こんにちは善玉菌

健康効果
私たちが摂取した
100,000,000,000,000個
の細菌が住みついている！！

腸内細菌を正常な状態に戻してくれるのが
「プロバイオティクス」！

目次

- ・プロバイオティクスとは
- ・プロバイオティクスに用いられる細菌
- ・プロバイオティクスの主な食品
- ・プロバイオティクスの健康効果
- ・プロバイオティクスの取り方
- ・プレバイオティクスとシンバイオティクス

プレバイオティクス と シンバイオティクス

プレバイオティクス
プレバイオティクス

シンバイオティクス

善玉菌 悪玉菌の増殖
腸内細菌のバランスを整えるプロバイオティクス

効果
・腸内環境を整える
・免疫力を高める
・アレルギーを軽減する

トップバッターの42組のライド。
ユニークな絵が使われていたのが印象的でした。



事前に作成しておいた原稿を読み上げている様子。
たまにこちらを見渡すなど余裕も少し感じられました。

DHA&EPA

EPA（エイコサペンタエン酸）

EPAとは？

- ・動物が体内で合成できない必須脂肪酸の一つで、善玉性を増加させる。心臓病やがんや糖尿病の予防に役立つ。
- ・魚油に多く含まれていて、その配量は魚種によって異なる。魚の種類によって含有量が異なる。
- ・EPAはエイコサペンタエン酸（EPA）と、多価不飽和脂肪酸が主成分で多く含まれている。健康効果を高める。悪玉コレステロールを低下させる可能性がある。

DHA&EPAの機能の発見

- ・「魚肝油のエキスを摂取する動物のデフォルトよりも血中脂質レベルが低く、認知症や糖尿病などの発症リスクが低い」といわれている。
- ・DHA&EPAはエイコサペンタエン酸（EPA）と、多価不飽和脂肪酸が主成分で多く含まれている。健康効果を高める。悪玉コレステロールを低下させる可能性がある。

2番目に発表した40組のライド。
途中音楽が流れるなど、面白いライドでした。



発表の様子。
しゃべりとアニメーションを合わせるタイミングが難しそうでしたが、うまくいったかな？

ポリフェノール

1 藍皮
2 カテキン
3 アントシアニン
4 イソフラボン
5 タンニン
6 代表的な食品
7 オイル酸

イソフラボン (isoflavone)

ポリフェノールのおいしい話

強い抗酸化作用を持っており、悪玉コレステロールを抑制する効果。腸内の働きを促す効果がある。

三番目に発表した39組のライド。
今までの二組と比べるとスッキリした印象を受けました。



発表する声も大きく、こちらに問いかけてくるなど、飽きさせない配慮もあり、上手な発表でした。質問にも答えていました。

食物繊維とオリゴ糖

食物繊維とは？

- ・人の消化酵素によって消化されない、食物に含まれている難消化性成分の総称
- ・その多くは植物性、菌類性、菌類性食物の細胞壁を構成する成分で、化学的には炭水化物のうちの多糖類であることが多い



オリゴ糖について



オリゴ糖とは

- ・オリゴはギリシア語で「少」を意味する
- ・単糖が2〜10個集合した糖類
- ・野菜、果物、牛乳などにもわずかに含まれる
- ・甘さはショ糖の半分以下
- ・人の小腸で消化されず、善玉菌を増やして腸内環境を改善する

ラストパターの41組のスライド。
各スライドが簡潔にまとまっていて、わかりやすかったです。



発表している人から準備をしっかりとってきたのが伝わってくる発表でした。休んだ人の部分が少し残念でしたが・・・。



審査の結果2位だった39組。
小林先生から賞品が授与されているところで一枚撮らせていただきました。



見事1位を獲得した42組。
こちらも小林先生から賞品を授与されている様子を撮らせていただきました。

今週のweekly pictures はいかがでしたか？

今回初めてスライドを作って発表をしたという人も多かったのではないのでしょうか。

今後、発表する機会は幾度となく訪れると思います。聞き手にわかってもらえるようなスライドとしゃべりを心がければ、

おのずとよい発表ができると思います。今回の経験を踏まえてこれからもがんばってください！

それでは次回もお楽しみに！

(担当:新居)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は先日行われた、すき焼きパーティの様子をお送りしたいと思います。

おいしい牛肉を送って頂いた鈴木さん、内堀さん、本当にありがとうございました。



今日のメインの常陸牛を両手に持ち、笑顔のM1澤田さん。



着々とすき焼きの準備が進んでいます。



さあ、どうぞ始まるとうろでしょうか。



B4新居さんが率先して作ってくれています。
出来上がりを楽しみですね。



待っている間も皆さん笑顔で楽しそうです。



こちらは小林先生プロデュースのすき焼きです。
市販の割り下は使わず、各調味を入れていきます。
絶妙な味付けでした！



牛肉以外にも、長ネギ、豆腐、春菊、白滝をいれ、おいしく頂きました。



このような時間を皆で過ごすことで、
さまざまな話に花が咲き、楽しい時間を過ごすことができました。

今週のWeekly Pictureはいかがでしたか？

鍋を囲んで楽しいひと時を過ごすことができました。

それでは次回もお楽しみに！

(担当:若井)

戻る

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気を感じるような写真を載せていきます。

今回は先日行われた、新メンバーである3年生そして留学生のMaryqueenさんの歓迎会の様子をお送りします。

今年はアットホームな雰囲気をモットーに執り行われました。

もてなし品は“豪華絢爛水炊き鍋”です。



歓迎会の主役たちです。
左から3年生仲田くん、若井さん、M2先輩さん、留学生のMaryqueenさんです。



今回の歓迎会の企画立案から仕切ってくれた4年生加藤くん。
頼れるイケメンです。料理もお手の物。



小林先生のあいさつで、会のはじまりです。



乾杯！



本会のもう一人の幹事、4年生宮澤さん。
頼れるお姉さまです。



みんなで楽しく鍋を囲んでいる様子です。
この鍋はMaryqueenさんのたつての希望だったそうです。



自己紹介中のMaryqueenさん。



主賓の3年生お二人も楽しんでくれているようで何よりでした。

こっそり撮っていたらバレてしまいました。



4年生の新居くん。去年の今頃は歓迎される側だったのに今やすっかりラボに馴染んでいますね。



M1 榊さん、M2 嵩さんと会話中の3年生仲田くん。すっかり溶け込んでいますね。



MaryqueenさんとM2林さん。
マッキー教授夫妻に続き、この1年ラボは国際色豊かです。



研究も大切ですが、こうしてみんなと交流をもって人とひとが
触れ合う、というのは共同生活をする上でとても大事なことに思
います。



技術補助員の葛間さんとM1吉園さん。
大変仲良しですね。



M2の福間さん、ご機嫌な小林先生、若井さん。
終始笑顔の絶えない会になりました。

今週のweekly pictures はいかがでしたか？

3年生もMaryqueenさんもまだまだ慣れないことばかりですが、一緒に頑張っていきましょう！

それでは次回もお楽しみに！

(担当:梅村)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気を感じるような写真を載せていきます。

今回は前々回に引き続き、マッキー教授夫妻が滞在中に行った研究室でのイベントをダイジェスト版でお送りします。

OBである沢辺さんのガイドのもと10/9～10/11に大雪へ行ってきました。

沢辺さんは現在ラボの研究対象の一つであるルーメン内 *Streptococcus bovis* の多様性についての研究の礎を築かれた方です。



まずは楓加内で新そばに舌鼓を打っている光景から。
マッキー教授夫妻は初となるそばですが、非常に満足されている様子でした。



国内最大の人造湖、朱鞠内湖を訪れました。
マッキー先生の後ろ姿と朱鞠内湖、合わせて撮らせていただきました。



人造湖とは思えないほど壮観でありますね。



夜はログハウスでちゃんちゃん焼きやジンギスカンを楽しみました。もちろんみんなで手作りですよ。



とてもいい笑顔ですね。
笑顔が素敵なのは心が温かいという言い伝えが各国にあります。



Japanese Sake! マッキー教授夫妻がとても気に入られておりました。酒は言葉の壁を取り払うには一番手っ取り早い方法でございます。



翌日10日に立ち寄った旭岳源水。
ここから石狩川にまで繋がっているのだから驚きですね。



お次は天人峡。
この日は天候に恵まれなかったのですが、逆にそれが雰囲気を出しています。



Burning Bush. 緑葉多く茂る中、真紅に染まる葉は非常に鮮烈な印象でした。



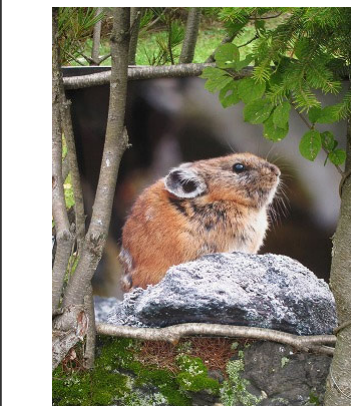
羽衣の滝をバックに全員でパチリ。
羽衣の滝の落差は北海道第一位、日本国内第二位を誇っています。



この日も手作りディナーでした。焼きそばを作っているのは私ですが、お味のほうはとてとても...
この他にも未知なる食材"ヤーコン"や小池先生の力作であるじゃがいもと鶏、豚のブロック肉のごろ焼きにとパワフルな料理が食卓に並びました。



最終日11日は十勝岳へ行ってまいりました。
目的は"Pika"とのふれあい。
十勝岳はこんな感じです。沢辺さんすてきです。



残念ながら"Pika"ことナキウサギに出会うことはできなかったので代わりの写真です。臆病な性格でなかなか人前に姿は現さないとのこと...。



十勝岳から見下ろす風景をバックに集合写真を撮る。
マッキー教授夫妻はじめ私たち一同北海道に眠る自然にはたびたび驚かされました。

マッキー先生と過ごした1か月半(後編)はいかがでしたか？

写真からは伝えることはできませんが、このように研究を離れた場所でもマッキー教授夫妻と接することができ、またフランクに対応してくださったことはかけがえのない経験です。

それでは次回もお楽しみに！

(担当:梅村)

戻る

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室的雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

当ラボで技術補助員として実験をサポートして頂いていた久保田さんが、12月から十勝臨床検査センターに就職されました。

そこで、今回のWeekly pictures では、久保田さんの送別会の模様をお届けします。



小林先生の乾杯の音頭で送別会が始まりました。



送別会は久保田さんだけの希望でもつ鍋屋で行いました。
もつ鍋に舌鼓をうつ久保田さん。
とてもおいしいもつ鍋でした。設定してくれた梅村君に感謝！



久保田さんとの会話に動む男性陣。
豊富な人生経験を聞き出せる最後のチャンスとあり、二人とも
真剣そのものですね！！



なにやら話し合っている紺さんと久保田さん。
つもる話でもしているのでしょうか・・・。



ここで、久保田さんへ寄せ書きのプレゼントというサプライズ。
ラボメンバーからのメッセージが色紙いっぱい詰まっています。



久保田さんと実験をすることが多かった彼は、感極まったのか涙
を流す一幕も見られました。



小池先生から労いの言葉と激励の言葉が久保田さんに送られました。



後日、久保田さんからラボに向けてお土産がありました。
おいしいシフォンケーキと黒いカシューナッツをありがとうございました。



黒光りしているカシューナッツ。
ピリ辛でとてもおいしかったです。
ビールがほしかったのは気のせいではなかったはず・・・！



最後にみんなで集合写真を撮りました。

久保田さん2年間お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

十勝でも元気で頑張ってください！

もし、札幌に来られることがあれば、是非ラボを覗いて行ってください。

今回のweekly picturesはいかがでしたか？次回もお楽しみに！

(担当:新居)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は、マツキー教授夫妻が開催して下さったWine&Cheese Partyの様子と、お世話になったお二人へのFarewell Partyの様子をお送りします。

マツキー教授夫妻の滞りも、このFarewell Partyをもって最後となってしまいました。



まずは、マツキー教授夫妻プレゼンツのWine & Cheese Partyの様子です。ごちそうとたくさん種類のチーズ(奥)、そして・・・ワイン(赤8本、白8本)が並びます。



宴の前に、マツキー教授によるワイン講座が行われました。皆、真剣に聞き入っています。



続いてピピアンさんによるチーズ講座。
山羊のチーズなど、食べ慣れないものもありました。



宴の始まりです。
ワイン片手に、会話が弾みます。



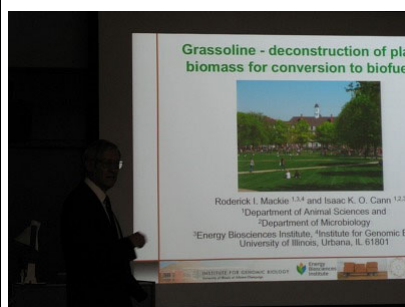
教授による講義は続きます。



お茶目な一面も♪



素敵なパーティをありがとうございました。



最後の日、マツキー教授に講演を行っていただきました。
テーマは「Grassoline-deconstruction of plant biomass for conversion to biofuels」。繊維分解酵素を持つルースメン細菌の理解を深め、植物バイオマスの利用に応用しようという研究です。



Farewell party@まつじんの様子です。
ジンギスカンと日本酒の大好きなご夫妻。すっかり日本通、かつ
どさんこですね。



ピビアンさんには、今後の英語の勉強法についても、相談にのっ
ていただきました。



お別れがさみしいです！！



マツキー教授夫妻、本当に本当にありがとうございました。

マツキー教授夫妻との1カ月半は、とにかくあっという間でした。

学ぶことがたくさんあった半面で、もっと英語ができれば、もっと研究分野への知識があったら、と反省する面も多々ありました。

来年同時期に開催される日韓中ジョイントルーメンシンポジウム(JRS)@北大では、もっと成長した姿を見ていただけるよう頑張りたいです。

マツキー教授夫妻、本当にありがとうございました。

今回のweekly picturesはいかがでしたか？次回もお楽しみに！

(担当:宮澤)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気を感じるような写真を載せていきます。

今回は、マツキー教授夫妻が滞在中に行った研究室でのイベントをダイジェスト版でお送りします。



北畠@新得町に参加された林さんが、お土産にそばを買ってきてくださいました。マツキー教授夫妻もお気に入りの一品です。



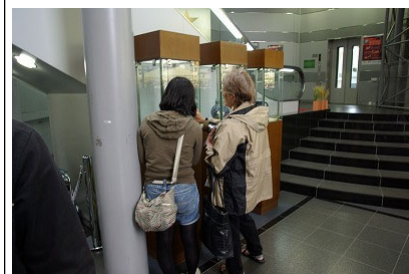
こちらマツキー教授夫妻が大変気に入っていた北海道ご当地料理「ジンギスカン」です。私自身北海道に来てもう4年になりますが、生ラムを食べたのは初めてでした。



みなささいい笑顔でございます。



こうした食事の場では普段よりも気軽に会話できるのか、女性陣は大はしゃぎですね。生きた英語と触れられるのは、またとない機会でした。



こちらはサツポロビール工場へ見学に行った際のワンショット。普段飲み慣れている彼らもこうして製造工程を見てみると感慨深いものですね。その生産ラインの無駄のなさにはマツキー教授夫妻も驚いていました。



見学後は交流もかねて、北海道は十勝発祥のパークゴルフを楽しみました。経験者の小林先生はサクサク進んでいきました。当然初心者の私は・・・



マツキー先生もパークゴルフを楽しんでいました。最初はフォーマンセルでやっていたのですが、いつの間にか一人突き進んでいました。



なかなかコツをつかめず苦戦していたしゃったピアンさんですが、このコースではイーグルを決めてご満悦の様子。この後スコアシートが行方不明になったので勝負はおあずけに。



ビールの原料、ホップの香りを堪能するマッキー教授、小池先生、M1澤田さん。これが素敵な苦みを醸し出すとは見た目からは想像できませんね。



最後にビール工場見学、パークゴルフ参加メンバーでバチリ。マッキー教授夫妻ともしっかりと交流を図れました。

マッキー先生と過ごした1か月半(前編)はいかがでしたか？

後編もお楽しみに！

(担当:うめむら)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は10/3-8にカナダのBanffという街で行われた国際学会GGAAの様子をお伝えします。

なお、今回は実際の発表の様子をまとめた[学会発表編](#)と交流の様子をまとめた[交流編](#)の2本立てです。お楽しみ下さい。



今回のweekly picturesはいかがでしたか？次回もお楽しみに！

(担当:林、澤田)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は9/17に東京は秋葉原で開催された

第41回 ルーメン研究会

の様子をお届けします。当研究室から小林先生、小池先生、M1吉園さん、B4加藤くん、梅村の5名が参加させていただきました。



会場の筑波大学法科大学院です。
秋葉原駅から徒歩近くにあります。



ルーメン研究会会長の板橋先生よりご挨拶。



北大からのトップバターは小林先生です。
「易消化性繊維の補給によるルーメン細菌の賦活化と主粗飼料の消化改善」
人に伝えるプレゼンとはこういうことを言うのでしょうか、
大変参考にする点が多かったです。



今回発表はありませんでしたが、座長を務められた小池先生。



小池先生と今回が初陣となる加藤くん。
緊張をやわらげるための会話でもしているのでしょうか。



題目は「rep-PCR 法による *Streptococcus bovis* 菌株の遺伝子型解析」
練習の甲斐あってか、学部4年とは思えない非常に落ち着いた発表でした。
さすがです。



最後のおおとりはM1吉國さん。
題目は「新規ルーメン細菌群U2のルーメン内分布様相」
以前にアパディーンで発表している経験もあり、非常に悠然とこ
なしていました。



懇親会より一枚。
こういった交流も学会の醍醐味ではなからうかと思います。

学部4年の身でこのように学会に参加させていただける機会を頂けたこと本当に感謝しています。

こたびの経験を生かし、今後より一層邁進していきたいと思います。

今回のweekly picturesはいかがでしたか？次回もお楽しみに！

(担当:梅村)

[戻る](#)

Weekly Pictures



研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は9/8～9に行われた北海道畜産学会の様子をお伝えします。

今年の会場は北海道新得町の 道立総合研究機構 畜産試験場 でした。

北大・家畜栄養学研究室からは林（M2）が口頭発表をさせていただきました。



会場の畜産試験場の建物です。
最近に建て替えられたそうで、とてもきれいなものでした。



動物舎などです。
往路は正面の山の斜面を走る高速道路を通ってきましたが、その道路からここまでが敷地とのこと、とても広大です。

一日目のシンポジウムのテーマは「大規模酪農経営の現状と課題」でした。
生産者（法人の代表）、地元農協、農協連合会など様々な立場から、大規模酪農経営の現状とそれぞれが抱える課題について講演がありました。

また、農業大学の生徒さんによる総合実習の発表も行われました。

なお、発表数は全体で口頭発表21題、ポスター発表10題でした。



その日の夜は、懇親会でした。
地元の名産品「新得地鶏」を振舞っていただきました。
とても美味でした。

二日目が私の発表でした。

タイトルは「新規メタン低減剤カシューナッツ殻液によるヒツジルーメン内細菌叢の変動」です。
他大の先生方、企業の方から質問をいただきました。

また、企業の方には発表終了後にもいくつか個人的に質問をいただくなど、大変興味を持ってもらえたようです。



栄養は私だけでしたが、他研究室の学生も発表していました。
写真は北大・畜牧体系学研究室M1の小野君。





学会終了後に玄関前で小林先生と記念写真。
来年は東農大@網走です。

昨年この学会でのポスター発表に続き、2回目の学会発表でしたが、口頭発表は初めてだったので非常に緊張しました。

色々自分の課題を痛感させられた発表だったように感じますが、多くの質問をいただくなど私たちの研究に興味を持っていただいたことは今後のモチベーションにもなりました。

今回のweekly picturesはいかがでしたか？次回もお楽しみに！

(担当:林)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は夏に小林先生宛に届きましたお中元を皆でいただいた様子をお送りします。



今年3月まで当研究室の学生でした渡部さんからお菓子の詰め合わせをいただきました。



見た目も涼しげで夏にぴったりのお菓子をありがとうございました。



皆でおいしくいただきました！



研究室のOBの方々からお肉やビールをいただきましたので、
パーティーを行いました。
こちらはOBの鈴木亮さんからいただいた宮崎牛です。



こちらは夫馬さん夫妻からいただきましたソーセージの詰め合わせです。
異なる味のソーセージがあり、どれも非常においしかったです。



真貝さんからはビールの詰め合わせをいただきました。
嵩さんは満面の笑みです！



実際に焼いている様子です。ソーセージは外側がばりばりで、とてもジューシーでした。



宮崎牛のアップ画像です。普段食べることのない和牛の争奪戦が行われました。



おいしいものを食べているからなのか、お酒が苦手な林さんのビールもすすんでいます。



あっという間になくなってしまいました。

この他、小林先生が担任していた学年の本間さんからビールの詰め合わせ、インターファームの方からハムの詰め合わせなど本当に多くのお中元をいただき、ありがとうございました。

今年の夏は例年より暑い日が多く、皆ばてていたのですが、皆様のお中元によりその日は元気に実験を行うことができました。

今回のweekly picturesはいかがでしたか？次回もお楽しみに！

(担当:吉國)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が出るような写真を載せていきます。

今回はマッキー教授夫妻とのイベント・ダイジェスト版をお送りします。

この秋、当研究室に、イリノイ大学のRoderic Mackie（ロデリック・マッキー）教授が一月ほど滞在されています。

マッキー教授は、草食動物の消化管細菌、特に繊維分解菌の研究における世界的権威です。一方でとても気さくな方で、
学生の私たちにも研究の話をたくさんしてくださいます。

また同行して来日されている奥様のピビアンさんには、英会話のレッスンもつけていただいています。

そんなマッキーご夫妻の歓迎会の様子、また小池先生ご新居でのホームパーティーの様子をお楽しみください。



まずはマッキーご夫妻歓迎会です。
農学部ローンでBBQをしました。



準備にも気合が入ります！



右から3番目がマッキー教授です。
英語での会話に始めはドキドキでしたが、みんな積極的に話しかけることができました。



終盤には会話も弾み、宴は夜通し続きました。



さて、ここからは小池先生ご新居でのホームパーティーの様子です。
マッキーご夫妻も参加されました。
豪華な料理が並びます。



Aschの息子さん、Calebくんも参加してくれました。
とってもかわいいCalebくん、実はドリリンガルなんです！



小林先生もメロメロです♪



関西出身・澤田さんのひっくり返すたこやきに、マッキー教授は興味深々。



吹き抜けの窓から入る日差しが気持ち良く、
ついつい長居してしまいました。



小池先生ご夫妻、ステキなおうちにお招きいただきどうもありがとうございました。

マッキーご夫妻の滞在期間、このようなイベントを通してたくさんのごことを吸収できるよう頑張りたいです。

今回のweekly picturesはいかがでしたか？次回もお楽しみに！

(担当:宮澤)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は恒例の農学部Beer partyの様子です。

天候不良につき、今年も大講堂での開催となりました。



Beerは飲み放題ですが、おつまみは持参です。
昨年好評だったので、今年もギョーザをメインディッシュとしました。
・・・が、嵩さんが生地に詰めているの・・・はキムチ？



こちらは準備がひと段落してお疲れの福岡君。
さて、休憩したら大講堂へ移動です。



栄養のテーブルはこんな感じです。



おいしそうですね。



食肉の佐竹君も食べに来ました。
おつまみのトレードは頻繁に行われ、代わりにハムを頂きました。



澤田君は満面の笑みでピースサインです。
吉園君も良い飲みっぷりです。

しっかりと全てのビールを飲み干して、partyは閉会となりました。

多研究室・他学科との交流もあって、新鮮だったのではないのでしょうか？

来年こそは…晴天の下、農学部ローンでの開催を祈りたいですね。

今回のweekly picturesはいかがでしたか？次回もお楽しみに！

(担当:林)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は7月30日に行われた北大農場ジバの様子をお伝えします。

農場に携わっている、農場技官さん、獣医学部の繁殖学教室、畜体系学研究室そして私たち家畜栄養学研究室が参加しました。



天気は雨と恵まれませんでした、めげずに農場車庫で開催です。



乾杯の様子です。ご覧の通り多くの方が参加されました。



お肉の写真です。そそられますね。



早速お肉を焼いています。ソーセージや焼き鳥もありますね。
中でも高さんの笑顔が目を引きまます。



こちらは林さんです。香ばしいしゃもに思わず飛びついてしまったようです。



スイカ割りです。やはりこれは外せませんね。
大変盛り上がりました。



家畜栄養から宮澤さんも参加しました。
どうやら上手くやっみたいですね。



そして小林先生も参加しました。
借しくも当たらず。あと20cm左斜め前でしたね。



獣医学部の高橋先生です。
最後に見事スイカをたたき割り、会場を沸かせました。



獣医学部の方 & 嵩さんです。皆さん顔が赤いですね。
とても楽しい方ばかりでした。

今回久しく開催された農場ジンバですが、私は初参加でとても楽しむことができました。
同じ農場に携わりながらも、あまり接することのない方々と話せるとても良い機会でもあるので
是非また開催して欲しいものですね。

今回のweekly picturesはいかがでしたか？次回もお楽しみに！

(担当:加藤)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は大学院入試(修士課程)の様子をご紹介します。

栄養の研究室からは、新居君、梅村君、加藤君、宮澤さんの4名が受験しました。



試験前の学生部屋の様子です。
先輩から去年の経験も踏まえた、何らかのアドバイスでしょうか。



新居君。
若干、緊張しているようにも見えます。



北海道とはいえ、8月にスーツは暑いです。
そんな暑さに耐えて、ビシッと決める梅村君。



いよいよ面接の時間が迫ってきました。
加藤君もやや表情が強張っています。



面接が終わって笑顔を見せる宮澤さん。
手ごたえはいかがでしょう？

今年は他大学からも受験された方がいたようです。

みんな、手ごたえはどうでしょう？

合格発表は9月3日です。

今回のweekly picturesは以上です。次回もお楽しみに！

(担当:林)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室内の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesは6/23-25にスコットランドのアバディーンにて開催された消化管微生物学会

「Gut Microbiology : new insights into gut microbial ecosystems」

の様子をお届けいたします。家畜栄養学研究室からは小池先生とAsch(D2)、榊(M1)、吉國(M1)の4名が参加させていただきました。

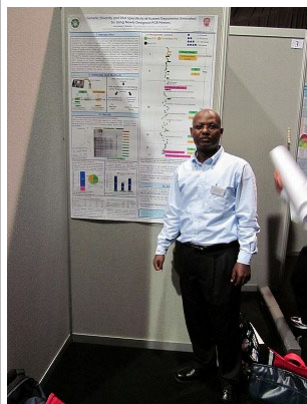
<学会の様子>



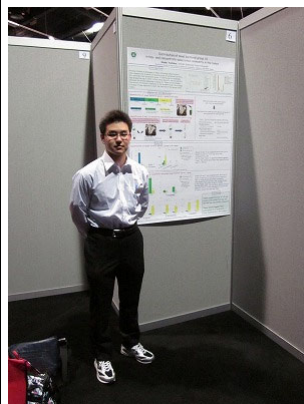
実際に学会が行われたAECC(アバディーン展示 & 会議センター)です。



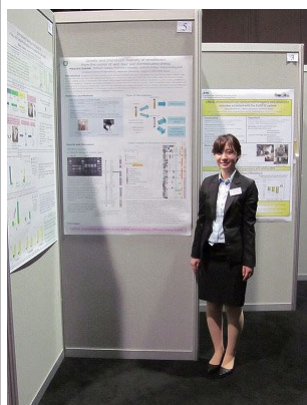
こちらは登録などを行った受付なのですが、見ても非常にきれいで、案内板なども参加者に対して見やすく丁寧に貼ってありました。こういった点は来年JRSを開催する側として参考にしていきたいと思いました。



Asch、榊、吉國の3人は今回ポスターでの発表でした。
学会の前日6月22日に各々のポスターを貼った際の写真です。
Aschの発表タイトルは
『Genetic diversity and diet specificity of rumen *Treponema* unraveled by using newly designed PCR primers』
で、今年出した論文の内容を発表しました。



私の発表は
『Distribution of novel bacterial group U2 in hay- and concentrate-associated community in the rumen』
というタイトルで卒業論文の内容を発表させていただきました。



榊さんも卒業論文の内容を発表しました。タイトルは



ポスターを貼った後、『Drinks reception』が行われました。学会中は、口頭発表の間にこのようなコーヒーブレイクがあり、多くの研究者の方とお話することができました。
私は初めての学会発表であり、かつ英語で自分の研究について喋らなければならなかったため、この日はすごく緊張していました。

『Genetic and phenotypic diversity of streptococci from the rumen of wild deer and domesticated sheep』
で、今回偶然にも榊さんのポスターは私のポスターの隣でした。



他の研究者の方々と互いの研究について話し合うことは非常に難しかったですが、自分が喋る際は皆真剣に聞いてくださり、質問をいただいたことは今後の研究の参考になりました。



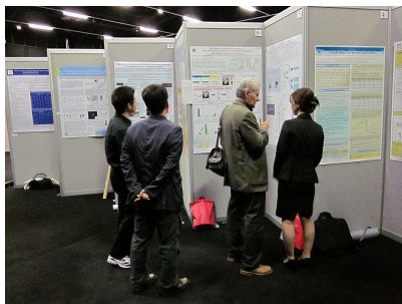
実際の学会の様子です。口頭発表の会場は非常に広い会場で行われました。



学会の主催者のアバディーン大学のJohn Wallace教授です。前日の『Drinks reception』でお話させていただいたのですが、自分の研究について真剣に聞いてくださり、幾つか質問もいただきました。とても紳士的な方でした。



ポスター発表は23日と24日に行われたのですが、私たち3人の発表は23日でした。こちらは、Aschのポスター発表の様子です。



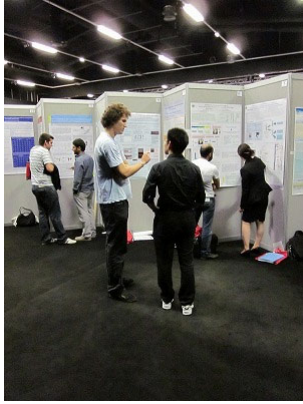
榊さんと私のポスター発表の様子です。事前に発表内容と質疑応答対策の準備をしっかりとっておかげで思っていたよりも緊張することなく質問にもしっかりと対応することができました。



前日に交流した方々も自分の発表を聞きに来てくださいました。



こちらは口頭発表の様子です。3日間で招待講演、口頭発表が



私と話しているのはイギリスのウォーリック大学の博士課程の Franck さんです。身長が2m近くあり、学会中はどこにいても目立っていました。ポスターの貼ってあった位置が近かったこともあり、互いの研究や住んでいる所について話している様子です。

合わせて28題行われました。どれも英語での発表のため内容を理解することは難しかったですが、普段研究を行っているルーメンについての発表は興味深く聞くことができました。

私と近い年齢の人もどうどうと口頭発表を行い、積極的に質問している姿が印象的で、とても刺激になりました。

<学会中のイベント>



学会中は発表を行うだけでなく、様々なイベントがあり、他の研究者の方々と交流を行うことができました。

1日目の学会終了後、『Civic reception』が行われました。この写真は会場近くの砂浜での写真です。ちなみに、時刻は昼ではありません。夕方6時くらいです。夜の10時くらいまでこの明るさが続きます。びっくりですよ。



砂浜を歩くスーツの女性です。違和感がありすぎたため、3人とも皆写真を撮ってしまいました。



『Civic reception』でのアバディーン市長の挨拶です。



会場の様子です。真ん中のグレーのスーツの方は論文で名前を何度も拝見したところのあるFlint先生です。学会中に、論文で名前を拝見したことのある方とお話できたことは光栄でした。



2日目の学会終了後には『Conference dinner』がありました。



小池先生のカメラに気づいた Yoon先生がピース！



最終日の学会終了後は懇親会とダンスパーティーが行われました。



非常にのどかな景色です。ダンスパーティーは左後ろの建物の中で行われました。皆ダンスを踊って疲れては外に出てきて休み、又踊りに戻るといった感じでした。



Mackie先生夫妻と小池先生です。Mackie先生は9月に当研究室にいらっしゃるのので、その際には研究を含む色々なことを学びたいと考えています。



小池先生と発表を終えた3人の乾杯。3人とも学会が終わり安堵の表情です。



こちらはダンスパーティーの様子です。Ceilidhというダンスを踊ったのですが、思っていたよりも激しいダンスで皆汗をかきながら踊っていました。真ん中はイリノイ大学のGaskins 先生です。私に『踊るぞ!』と言ってきたのですが、先生の踊りの方は・・・

今回は私にとっては初めての学会であり、また国際学会ということで学会中の全ての体験が刺激的あり、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

今回の学会で得られた経験、そして反省点を次回学会に参加させていただく機会があればそこに生かせるよう努力していきたいと思います。

学会に修士の学生で参加していたのは自分たちだけであり、修士の学生でこのような貴重な経験をさせていただき、両先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

今回のWeekly picturesでは、アバディーンでの学会についての報告をさせていただきました。

『アバディーンや経由したアムステルダム美しい景色』については来週UPする予定です!

次回のWeekly Picturesもお楽しみに。

(担当:吉園)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室的雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesは5/23-25に中国は南京で開催された国際学会

The 2nd International Symposium on Gastrointestinal Microbial Ecology and Functionality

の様子をお届けいたします。家畜栄養学研究室からは小林先生とM1澤田が参加させていただきました。

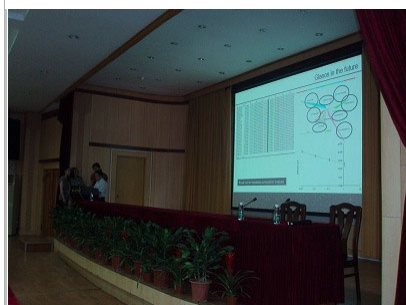
<学会の様子>



今回は2003年に第1回目が開催されて以来、5年ぶりの開催
ということでした。小林先生は1回目にも招待講演を行われた
らしく、前回よりも格段に規模が大きくなっているということでした。



学会会場である南京農業大学のメインの建物です。
ここで実際に研究が行われているそうです。この他にもいくつも
建物があり、さらに建設中のももたくさんありました。



プレゼン会場の様子です。
今回ポスター発表はなく、口頭発表が主体でした

全体を通して、特に招待公演は見やすいスライドが多く勉強
になりました。馴染みのない分野は理解できないものも多かった
のですが、自己啓発になりました。



100人程度収容できる部屋でした。

聴衆はやはり中国の方が多かったのですが、Invitedである著名
な先生方の質問を中心に活発な質疑応答が行われていまし
た。



イリノイ大学のMackie教授です。Mackie先生は僕の発表にも
質問を下さいました。今回は研究に関する話はあまり出来な
かったのですが、9月に来日される際にはお話出来ればと思
います。



浙江大学のLiu教授(左)と主催者である南京農業大学のWei-
yun教授(右)です。お2人の研究室は中国でのルーメン研究の
中心を担っているようで、研究室の規模も急成長中だとい
うことでした。



自分の発表中の様子です。事前にはしっかり準備をしていたおかげで、途中で原稿が飛ぶようなことはなく無事発表することが出来ました。

質問も4題いただけのですが、うまく返すことが出来ないものもあり、基礎的な英語力向上の必要性を感じました。



小林先生の発表はやはり聞き取りやすいかつ分かりやすく、見ていると勉強になりました。

普段、授業以外で先生の発表をお聞き出来る機会も少ないので少し新鮮でもありました。



ソウル大学のHa教授も招待講演を行われていました。ありがたいことにHa先生には自分の発表後にコメントをいただき、励みになりました。



学会は学生が主体で運営しており、見分けがつきやすいようにお揃いのTシャツを着ていました。Wei-yun先生の研究室には40人ほど学生が所属しているということで、当研究室の勢いを感じました。



大学内にはこのような案内がいたるところに貼ってあり、出席者に親切でした。来年は自分達がJRSを主催する側になるので、参考にしたいと思います。



大学内にある宿泊施設です。きれいな建物で、会場からも徒歩圏内なので便利でした。北大にもこのような施設があるとよいのですが..



浙江大學の学生との1枚です。自分以外に修士で発表していた学生はおらず、発表させてもらえる立場のありがたさを再認識しました。



学会後の集合写真です。実際にはこの2~3倍の出席者がおり、このような大人数の前に発表するのは初めてだったのでよい経験になりました。また、他の国の方々とも交流できたことも貴重な経験でした。



食事や懇親会時は7~8人ごとのテーブルに分かれていましたが、テーブル間の移動はしやすく、色々な方とお話することが出来ました。



小林先生にLiu先生へ紹介していただき、一緒に昼食をとりました。中国の学生には、日本に興味を持っている人も多かったです。来年のJRSのことを伝えると是非参加したいという声をよく聞きました。



McSweeney教授と小林先生は古くからの知り合いということでお話しも盛り上がっていました。小林先生自身も著名なルーメン研究者ですが、周りにおられる方も論文でよく名前を拝見するような著名人が多く感動しました。



オランダはWageningenの研究者の方々との1枚です。左からMurielさん、Hansさん、Mirjanaさんです。皆さんヒトや豚などの単胃動物の腸内細菌の研究をやられているということでした。非常に英語が堪能な方々でした。

この他にもオランダからはメタン低減の研究を行っているPelikaan教授が参加されており、親切にして頂きました。



Vermont大学のWright教授は水牛や馬なども含めたメタン菌の多様性について研究されているとのことでした。気さくな方で、お話しやすかったです。GGAAにも参加されるとのことですので、またお会い出来る機会が楽しみです。



Aberystwyth大学のKimさん(左)とScollanさん(右)です。Kimさんは小池先生と入れ替わりでイリノイ大学におられたそうで、イリノイ大学時代のお話もお聞きすることができました。



食事は主にバイキング方式で様々な種類の料理が並んでいます。中国では朝から油ものを食べるのも一般的なようで、食欲に圧倒されることも多々ありました。



中国ならではの回転テーブルで円状だったので、会話を弾みやすかったです。

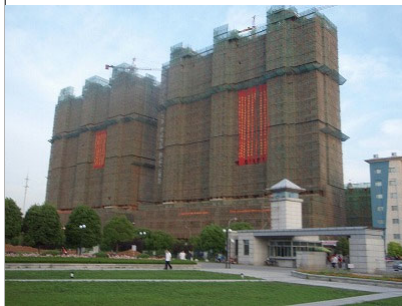


全体の懇親会後には、ホテルの地下にある部屋でカラオケ大会も行われました。
 上の写真のように和気藹々とした雰囲気、コミュニケーションもとりやすかったです。
 学会場ではなかなか話すことの出来なかった先生方ともお話することができ、有意義な時間を過ごせました。

<南京の街の様子>



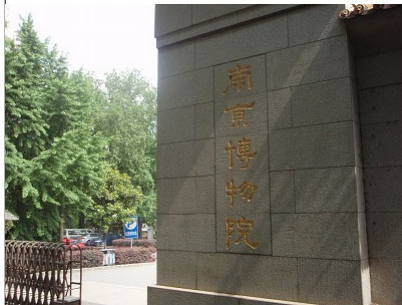
ホテルの窓からの1枚です。朝方なので、車も少ないですが日中は車で溢れていました。



上の写真のように建設中の建物が多く、いまだ急速に発展している国であることが印象付けられました。



学会が終わった次の日には、学生に南京の街を案内してもらいました。左がLi-xiaさん、右がPengくんで2人も僕と同じM1ということでした。1日中熱心に案内してくれてありがたかったです。



南京博物院という博物館です。中には、日本なら国宝級に値するような古い土器などが置かれていました。各省に1つはこのような博物館があるということで、中国という国の歴史の深さを垣間見ました。



こちらの豚の形をした土器が約5000年前のものらしく、同じような年代のものが多数展示されていました。



街中は大きなビルが多く、想像以上に都会でした。また中国は自転車のイメージがあったのですが、むしろスクーターや車が多く驚きました。



実際の参加時期から随分間が空いた更新になってしまい申し訳ございません。

今回は初めての学会、しかも国際学会ということで英語での発表を含め初体験のことが多く、大変貴重な時間を過ごすことが出来ました。

また、今年是有難いことに10月3日～8日にCanadaのBanffで開かれるGreenhouse Gases and Animal Agriculture Conference (GGAA)にも

小林先生、M2の嵩さん、林さんとともに参加させて頂けることになっています。

今度の学会は英語圏での開催ということで、今回以上にコミュニケーションという点では大変かもしれません、中国での経験を活かして自分からも発信出来ればと思います。

このような貴重な体験をさせていただき、先生方本当にありがとうございました。

次回のWeekly Picturesもお楽しみに。

(担当:澤田)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は恒例の畜産学科ソフトボール大会の様子をご紹介します。

グループ予選は栄養vs酪農vs副生物vs3年です。



場所は昨年に引き続き美香保グラウンドです。
天気もご覧の通り晴天に恵まれました。



今年のこのユニフォームです。
背中にはヒツジが描かれています。



小林先生は四番ファーストです。
確実にランナーを返してくれる勝負強さはさすがです。



吉園君は普段からスポーツをしているので、運動不足を感じさせない動きです。
うらやましいです。



ホームに還って来た加藤君(左)。
さわやかですね。



栄養のエースピッチャー嵩さんです。
テニス仕込みのスイングで、バッティングでも貢献します。



一塁に間一髪セーフの福岡君です。



学生だけでなく、技術補助員さんにも出場いただきました。

こちらは久保田さんです。

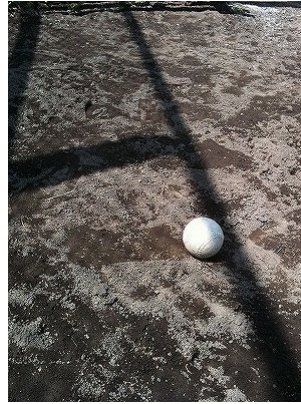


同じく葛間さん。
お二人にも攻撃・守備の両面で頑張ってくださいました。



繰り広げられる熱戦にチビツ子球児も釘付けです。
けれど、同時に辛口コメンテーターでもありました。

そして注目の結果は…



…………あと一歩及ばず、予選敗退でした。無念です。



試合後に榊さんと山口さん(改良)のツーショット。
研究室間の交流ができるのも、学科イベントの良さですね。



全試合後にはもちろん打ち上げです。
汗を流した後のビールは格別です。
そして、お肉が美味しい！！
この後、宴は夜まで続きました。。

今年のソフトボール大会は3戦全敗(一つは引き分けじゃんけん負け)という悔しい結果になってしまいました。

けれど天気にも恵まれた半面、北海道に似合わない暑さの中でしたが、お疲れさまでした。

来年こそは優勝目指して頑張らしましょう！

今回のweekly picturesはいかがでしたか？次回もお楽しみに！

(担当:林)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は神戸大の大澤教授が来訪された時の様子をご紹介します。

小林先生vs大澤先生のパークゴルフ対決@前田森林公園に福間、林、新居の三名が同行させていただきました。



小林先生は何度か経験があるようで、最初から確実なショットでした。
スイングが決まっています。



大澤先生は何と言ってもスイングがバツルでした。
飛距離も5人中NO. 1です。



新居君。
学生は3人とも初心者でしたので、ボールをまっすぐ飛ばすだけで一苦労です。



福間君。
あまりの解放感にサンダルを脱いで裸足でプレーしています。



私、林のバンカー(?)ショットです。
バンカーとは名ばかりで、砂というよりはむしろ土ですね。



本州でのバターゴルフをイメージしていたら、アップダウンが激しくて驚きました。
ボールがどう転がるかと予想できないのが、難しくもあり面白い
です



ゴルフで汗を流した後は、大学に戻って農学部ローンでジンバです。
梅村君も合流しています。



少々火が弱いでしょうか…。
まあ、その間はしばしご歓談を。



大澤先生のフライトの時間まで、色々なお話を聞きました。
研究の話はもちろん、小林先生との学生時代の思い出話、研究以外の仕事の話などなど。
その中には、僕ら学生へのメッセージも多く込められたように感じました。

北海道に来て初めてのパークゴルフはとても楽しかったです。

次は、研究室内コンペも是非やってみたいですが、もう少し涼しくなってからでしょうか。

大澤先生には、色々なお話を聞いて楽しかったです。それに、とても勉強になりました。

また北海道にお越しの際は、是非ラポにお立ち寄りください。

今回のweekly picturesは以上です。次回もお楽しみに！

(担当:林)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesは、畜産草地研究所での研修(5/17~6/25)についてお送りいたします。



今回は僕たちも関わっているプロジェクトの消化試験のお手伝いで畜産草地研究所にやってきました。前半組が3週間、後半組が3週間の計6週間お世話になりました。



消化試験で使うチャンバーです。

試験期になるとこの中に牛を入れ、ガスの出入り、エネルギーの出入りを計測します。ちなみに、温度・湿度は常に一定に保たれています。



左側の直方体のおけに尿がたまり、右側のおけには糞が落ちてきます。

チャンバー内で牛がした排泄物つしたものは、地下にある糞尿分離器に落ちてきて、糞と尿を分けて回収します。



チャンバー内の空気の流れを測定する機械です。

各チャンバーからこの機会に管がつながっていて、メタンや二酸化炭素などの排出量を測定します。



今回試験に協力してくれる牛たちです。

子牛のころからこのような試験を多くこなしているようで、とても慣れた様子で、おとなしかったです。



いよいよ本期がはじまりました。

精密なチャンバーを使った試験ですので、できるだけ糞尿の取りこぼしがないようにします。ヘラを使って床や壁についた糞も回収します。

チャンバーを開けることができる時間は限られているので、丁寧かつ速やかに作業します。



チャンバー内の糞の回収が終わるとすぐに地下へ降りて、こちらでも機械についている糞を回収します。



回収した糞尿の重量を測定します。



均一なサンプルを得るため、攪拌機で糞を攪拌します。



攪拌機の羽についたものもしっかり落とします。



おけの中のいろいろな部位からサンプルをとり、きめられた量をサンプルとして回収します。これは最後の微調整をしている様子です。

このあたりは経験とセンスがものをいいます。



すぐに実験に用いるわけではないので、空気をしっかりと抜き、品質が劣化しないように保存します。



尿もしっかりとかきませ、均一にしてからサンプリングをします。

こちらは、排泄された尿量に応じてその日のサンプルを回り取っているところです。



最後に、使った道具を洗って、作業は終了です。

作業時間は短いのですが、時間との勝負の部分があるため、なかなかハードです。



以上が、僕たちが畜草研で行っていた作業の主だった部分です。

最後に屋上からの景色でめたいと思います。緑がいっぱいで、気持ちいいですね。

前回の更新からだいぶ時間が空いてしまいましたが、なんとか更新することができました。

畜草研では、カシューナッツ殻液のメタン低減効果及び、飼料利用効率の向上を検証すべく、

チャンバーを用いた大規模な消化試験を行っていただいています。

今回の研修で僕たちもプロジェクトの一端を担っていることをより強く感じるとともに、あらためてプロジェクトの大きさを知りました。

永西さんをはじめ、今回の研修では畜草研の皆さまに本当にお世話になりました。

次回のWeekly Picturesもお楽しみに。

(担当:新居)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesは、5月11日に行ったヒツジの毛刈りの様子をお送りします。
家畜栄養学研究室では、現在4頭のヒツジを飼養しています。
札幌も最近では日中20℃を超え、毛が長くなったヒツジたちはとても暑そうです。
ということで、これからの季節に備え、ヒツジたちの毛刈りを行いました。



高橋さん、梅村君、宮澤さんの毛刈りの様子を高橋が興味津々で見えています。きっとはやく毛刈りしてほしいのでしょうね！



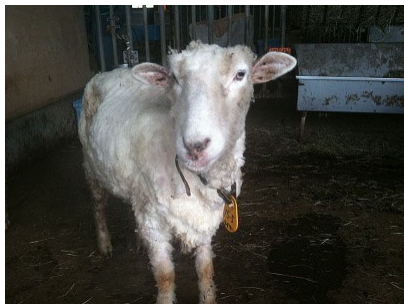
こちらは、男性3人チーム。厚い毛で覆われていたヒツジが大分すっきりしてきました。



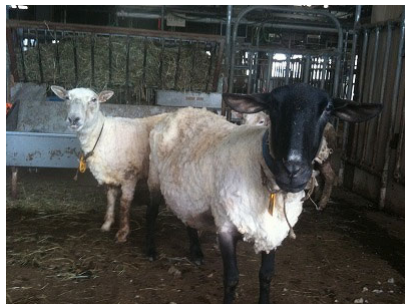
澤田君を手伝っている加藤君がカメラ目線。はさみに気がつけてね。



毛刈りの後は、伸びていた蹄を切ってあげます。真剣な表情の新居君です。



こちらが毛刈り後のライリー。すっきりしていてかわいらしいですね！



たもつと高橋です。高橋は体が毛刈り前に比べシャープになりました。たもつはライリーと同様にこれからの季節快適そうです。

今回はヒツジの毛刈りの様子をお届けしましたが、いかがでしたか？
次回の更新もお楽しみに。

(担当: 吉園)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気を感じるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesでは、研究室の何気ないワンシーンや実験でお世話になっている機器を紹介します。



デスクワーク中の4年生加藤くん。
こちらに気づかないほど集中しています。



TAの準備中のM2・M1の先輩方。
電気泳動はうまくいったのでしょうか？



続いてはPCRマシン。
もうすっかりおじいちゃんですが、まだまだ現役で活躍しています。
イケメンです。



続いては左のPCRマシンの後輩にあたるPCRマシン。



オートクレーブ兄弟。
菌を扱う実験では必須です。



ガスクロマトグラフ先生です。
ほんのり丸みを帯びたデザインが好きです。



そして最後は再び4年生加藤くん。
白衣姿もまた素敵ですね。実験は順調に進んでいるのでしょうか？

今週のWeekly Pictureはいかがでしたか？

次回もお楽しみに！

(担当：梅村)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesは、5月17日に行われました畜産科学科新入生歓迎会の様子をお送りします。

新入生のみなさん、畜産科学科へようこそ！



畜産科学科の新歓は、毎年3年生が主催で行われます。
元気な司会者のおかげで、会場は大盛り上がりでした。
3年生、お疲れ様です！



やっぱり乾杯は牛乳です。



新・畜産2年生のみなさんです。
女の子が多くて華やかですね。



こちらも新入生。
兵庫出身、愛知出身の子が多かったように思います。



今年温厩を迎えられた中村先生、近藤先生には、3年生からサフ라이ズプレゼントが！
赤いちゃんちゃんこならぬ、赤いバスローブです。
温厩おめでとうございます。



さて、場所を北大南の義経さんに移し、2次会です。
2次会で先生、先輩と打ち解けた新入生も多かったのではないしょうか。



学科行事では、研究室を超えた交流も楽しみの一つですね。
写真は食肉、改良、副生のみなさま。



加藤が、なにやら先輩に相談中です。
お酒の場では、本音トークにも花が咲きます

新入生のみなさんは、歓迎会で畜産の雰囲気をつかむことができたのではないのでしょうか。
家畜栄養学研究室に興味を持った方は、是非研究室に遊びにきてくださいね。
そして3年生のみなさん、本当にお疲れ様でした。
次回のWeekly Picturesもお楽しみに。

(担当:宮澤)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気や伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesは、林さんと嵩さんの就職内定祝いの模様をお送りします。



今日のお祝いではお好み焼きを作ることにしました。まずはキャベツを切る加藤君。慣れない手つきながらも表情は真剣そのもの。



お好み焼きを焼く梅村君。上手くひっくり返すことができるでしょうか…。ここでミスしてしまうと、ちょっと残念なお好み焼きになってしまう。



どうやら上手く焼けている様子ですね。じゃがいもにチーズをのせているようですが、これはなんでしょうか。少し気になります。



お好み焼きどっちのけでじゃがいもを食べようとしております。お味のほうはいかがだったのでしょうか…。



すごくいい笑顔の小林先生。この日はAschの第二子誕生祝いも兼ねていました。



今回の主役の一人、嵩さんです。第一希望の企業から内定を頂けた模様です。



もう一人の主役、林さん。(写真右)	これは、お祝いのケーキです。
苦しい時期の就活でしたが、林さんなら大丈夫と信じていました。	林さん、嵩さん、Asch 本当におめでとうございます。

札幌ではようやく桜の季節になり、それに伴い良い知らせが囁い入ってきました。

来年度は順調にいけば、僕も修士1年で就職活動をする事になります。

この時期に、いい知らせができるように、今からしっかりと勉強していかなければと改めて実感しました。

次回のWeekly Picturesもお楽しみに。

(担当:新居)

戻る

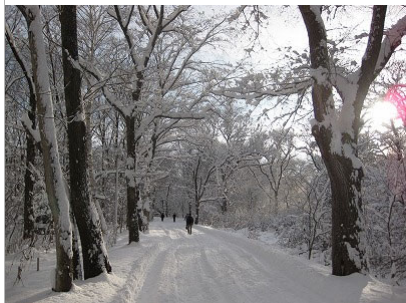
Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、

研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesでは、GWの前になってようやく春らしさを感じられるようになった北大キャンパスの様子と、とある日のティータイムの風景をお伝えします。



冬には雪に埋もれていた原生林も・・・



ようやく緑が見えてきました。



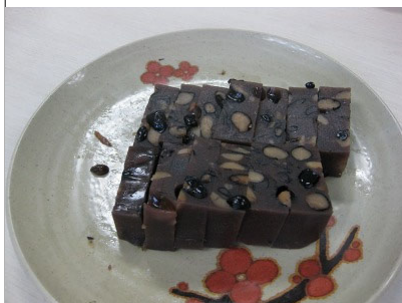
農学部前も・・・



雪の塊も残りわずかとなりました。



そんな春の某日、小林先生のご友人から「黒豆ようかん」をいただきました。



その名の通り、黒豆がひっきりと詰まっています。



ようかんなので、日本茶でティータイムです。



白衣姿の人もちらほら。
実験の休憩にいただく甘いものは格別です。
もちろん、食べた後はきちんと実験しますよ(笑)



なお、この黒豆ようかんのご提供は昨年引き続き京都府福知山市の堀池製餡でした。

ありがとうございました。

昨年も同時期に送っていただいたので、個人的には1年前を思い出して懐かしかったです。

春とはいえ、ようやく雪が融けたといったところです。

今年は少々春の訪れが遅いような気がします。桜の開花はGW明けてでしょうか？

次回もお楽しみに！

(担当:林)

[戻る](#)